

柳城

R y u j i o

柳城学院報

第70号

発行所：学校法人 柳城学院

〒466-0034 名古屋市昭和区明月町2-54
TEL.052-841-2635 FAX.052-841-2697

発行者：土井 宏純

2025年8月1日



2025 年度 合同入学式 名古屋柳城女子大学 名古屋柳城短期大学

「柳城が歩んできた道、

テーマ

これから歩むべき未来を照らす」

CONTENTS

■理事長からのメッセージ	2	■教学事務室より		■附属幼稚園より	
■学長からのメッセージ	3	フレッシュマンリトリート	6	柳城幼稚園	11
■法人本部より	4	合同ゼミナール		豊田幼稚園	12
■大学より		特別給付奨学金	7	三好丘聖マーガレット幼稚園	13
名古屋柳城女子大学		同窓会（のぞみの会）より		■2024 年度会計報告	14
名古屋柳城短期大学		後援会より		■新任教職員	15
キリスト教センター	5	■入学センターより	8	■第3回 カナダ保育研修のご報告	
図書館		■2024 年度就職状況	9	■学院人事	
幼児教育研究所		■チャプレンからの メッセージ	10	■マーガレット・ヤング基金 ご寄付のお願い	16

■ 理事長からのメッセージ

建学の精神に立ち返る

～ 時代にふさわしい新たな柳城学院づくり ～

学校法人柳城学院 理事長 土井 宏純



このたび、学校法人柳城学院の理事長に就任いたしました。このような大役を拝命し、責任の重さをひしひしと感じながらも、これまで柳城学院の発展のためにご尽力くださったすべての方々に深く感謝するとともに、私自身も本学院の歴史と伝統を尊び、微力非才の身ではありますが、その継承と発展に力を尽くす所存です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

最初に、すでに公表されております通り、本学院理事会におきまして、2020年に開設しました名古屋柳城女子大学の2026年度以降の学生募集停止、また2028年3月末をもって三好丘聖マーガレット幼稚園の閉園という苦渋の決断に至りましたことは、ひとえに柳城のともし火をこれからも灯し続けるためとは言え、皆様に多大なるご迷惑とご心配をお掛けしております

すことを、法人を代表して心よりお詫び申し上げます。すべての学生、園児が卒業、卒園するまで、教育体制をしっかり維持し、充実した学生生活、園生活を送ることができるよう、教職員が一丸となり万全を期してまいります。

柳城学院は、今から127年前の1898（明治31）年、カナダ聖公会の宣教師マーガレット・ヤング先生によって名古屋の地に創立されました。近代日本における女子教育がまだ広く整備されていなかった時代、幼い子どもたちと女性たちの未来のために教育の扉を開いたヤング先生の情熱と献身は、今も私たちの心に生きています。本学院の建学の精神である「愛をもって仕えよ - By Love Serve -」は、新約聖書『ガラテヤの信徒への手紙』5章13節から取られた言葉ですが、この言葉は、ヤング先生の生涯そのものを映し出すものであり、また柳城学院が歩んできた道、そしてこれから歩むべき未来をも照らす光であると確信しています。

「仕える」という行為の実践には、他者を思いやり、寄り添い、相手の尊厳を深く認める姿勢が必要となります。これからの時代に求められるものは、多様な価値観を理解し、共生できる能力であり、共感力や協調性といった非認知能力の育成が不可欠であると思います。知識や技能を習得するだけ

にとどまらず、隣人を愛し、仕え、社会に貢献できる人材を育成することこそ、ヤング先生が柳城学院に託した願いであり、私たちがこれからも大切に守り育ていかねばならない使命であると強く感じています。その意味で、私たちはヤング先生を単に懐かしむのではなく、情報化、グローバル化が著しい現代社会の現実の中で、改めてその本質を捉え直し、日々の実践の中に息づかせていくことができればと思います。

そのためには持続可能な経営基盤の確立が必要となります。保育者を志す若者が減少する厳しい状況ではありますが、多様な学生ニーズに応える魅力ある教育プログラムの開発、広報戦略の強化、入試制度の改善などに力を入れ、学生募集の安定化を図れるよう努力します。新たに取り入れた「長期履修制度（3年コース）」もその一つです。同時に、経営の効率化、透明性の向上、そして安定的な財政基盤の確立に努め、柳城学院が今後も継続、発展し続けられるよう、法人役員、評議員、教職員をはじめ、本学院に關係いただいている皆様と心を一つにして、地域・社会に開かれたこれからの時代に相応しい新たな柳城学院づくりを推進していきたいと願っています。

どうか、今後とも学校法人柳城学院へのご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

■ 学長からのメッセージ



名古屋柳城女子大学 学長 菊地 伸二

この度の学院報におきまして、名古屋柳城女子大学が学生募集を停止しましたことを、皆さまにお伝えしなくてはならないことを大変心苦しく思っております。

名古屋柳城女子大学は、2020（令和2）年の開学以来、「キリスト教主義の理念に基づく人間育成」を行うことを旨とし、「愛をもって仕えよ」という柳城学院の建学の精神のもと、

「人びとと共に生き、人びとに仕える」という共生と奉仕の心を体得した人物を養成することを目指して努めてまいりました。しかしながら、18歳人口の減少にともなう入学希望者数の減少、大学運営にかかる諸経費の高騰等のために、学院として発展的に存続させていくことが困難になりました。理事会におきまして慎重に検討してまいりましたが、名古屋柳城女子大学は、2026（令和8）年度以降の学生募集を停止することを決定しました。苦渋の決断であったことは否めませんが、これまでさまざまな形で支援して下さった皆さまに対して、この場をお借りして深くお詫び申し上げます。

他方で、名古屋柳城短期大学は、柳城学院の高等教育機関として、これからも継続して教育と研究に専念してまいります。今年度より、従来の2年間の教育課程に加え、3年履修コースという長期履修制度を設け、さらに次年度からは、幼稚園教諭と保育士に加

えて、小学校教諭の免許状取得も可能となり、新たな時代のニーズに応えつつ、学びの広がりを実現していくことで、さらなる充実を図ってまいります。地域に根差した保育・幼児教育の養成校として貢献してまいりたいと存じます。

名古屋柳城女子大学は、現在、在籍しているすべての学生の皆さまが、無事に卒業して社会に巣立っていくそのときまで、学内の教育環境を維持し、学生生活や進路・就職の支援を行いながら、教育機関としての責務を果たしていくことに全力を尽くしていきたいと思っております。この3月には2期生が卒業しましたが、すでに社会で活躍している卒業生も含め、本学を卒業していくすべての学生の皆さまが、社会において、共生と奉仕の心をもって一人ひとり活躍していくことを希望しながら、今後も教育活動を続けてまいりますので、どうかこれまでと同様ご支援とご理解を賜りたく存じます。

■ 新学長を迎えて



名古屋柳城短期大学 学長 鈴木 裕子

ことに身が引き締まる思いがしております。

名古屋柳城短期大学は、創立から127年間、歴史ある保育の単科短期大学として、保育者養成の最先端を歩んでまいりました。学生同士はもちろん、学生と教職員との距離が近く、学生に対して甘やかさないけど愛し続ける教員や職員の支援は大きな魅力のひとつです。自分が愛され、それゆえに自分を愛し他者を愛することができる保育者を育て、多くの卒業生を送り出し、その一人一人が活躍してくれています。それは変わりません。

少子化、多様化という予測困難な時代を生き抜くためには、建学の精神「By Love Serve 愛をもって仕えよ」を大切にし、流れを読み取り柔軟に対応し、スピード感をもって変化していくことが求められると考えています。私に大学の舵取りをする十分な資質や能

力が備わっているとは思いませんが、ひとつだけ幸運なことがあります。それは、私にとって保育者養成の根幹をつくってくれた柳城短大の伝統や変化に身を置いていた18年間、その後、少し外から柳城を見つめた14年間、そのうちの近年3年間は再び基幹教員として、と異なった立場の経験をもっていることです。その経験が、過去、現在、未来を見つめ、将来的な方向性や示唆を考える視点を、なすべき仕事を考える情熱を抱かせてくれます。変えられないものと変えるべきものを分け、変えるべきものを変える勇気を持ち続けたいと考えています。本学を応援して下さる皆様とともに、そのお力添えを頂き、魅力ある短期大学、選ばれる短期大学として、名古屋、御器所の地に在り続けるために力を尽くしたいと思います。

名古屋柳城短期大学、学長に就任いたします鈴木裕子です。

柳城を取り巻く環境が逆風であるにもかかわらず、多くの卒業生から、柳城での学びを誇りに感じているといった声が届けられています。本学の教育に対してのご信頼やご信任、そして母校への溢れるほどの愛情を戴いている

■ 法人本部より

「保育者養成校としての使命を果たす」

1898年に柳城学院の創設者であるマーガレット・ヤング先生が母養育を始めたことが柳城学院のスタートとなりました。そして今年で127年目を迎えることができました。

まずは残念なお知らせとなりますが、このたび本学院の4大について、2026年4月入学者より学生募集を停止することが決定いたしました。社会変化にて歯止めのかからない少子化と保育職のイメージ低下なども重なり、学生募集の成果を得ることができませんでした。応援してくださる皆様には大変申し訳なく心よりお詫び申し上げます。

ただ、こうした厳しい状況においても、教育界における質保証はますます高度なレベルを図ることが求められて

います。私たち学校法人柳城学院は127年の歴史とさらにその先を見据えた長期的な視野に立って、社会や保育業界が求める質を確保し、提供し続ける確たる決意と力を持ち続ける必要があります。

そして、国が進める一連の教育改革の方向性を確認しつつ、学院の建学の精神である「愛をもって仕えよ」（人々と共に生き、人々に仕える）のもと、歴史と伝統に期して設定した柳城学院の教育ビジョンに沿って、一步一步着実に具体的な施策を計画・実施し、前進を遂げていかなければなりません。

ここ数年は、愛知県下の保育養成学校においても定員を充足することは厳しく、多くの学校が募集に窮しております。これは保育養成学校の事業存続

に影響するのみならず、その先には、保育者の力量の低下や、保育事業の経営機能の低下にもつながります。いくら少子化が進もうとも、国や地域社会の宝となる子どもたちが相応しい教育を受けることが困難になることはあってはならないことです。そのためにも、私たちはこの正念場においても、しっかりと踏ん張って、保育者を養成する使命を果たさなければなりません。

今後とも、教職員一同、入学した学生の安心安全を確保しながら、丁寧な保育教育を続け社会に排出していく所存です。

本学院の応援よろしくお願い申し上げます。

■ 大学より

名古屋柳城女子大学

Ⅱ 特別な新年度を迎えて

2025年3月の卒業式では2期生35名が巣立っていきました。2020年の開学より5年間、「人びとと共に生き人びとに仕える」という建学の精神のもと「子どもを学び、子どもに学び、ともに学ぶ」という学び循環を中心とした教育課程を実践してきた訳ですが、送り出した1期生・2期の成長した姿から、我々の目指してきた教育の手ごたえとこれからの課題が少しずつ見えてきたところでもありました。

2025年4月の入学式では18名の新入生を迎えたわけですが、残念なことこの18名は名古屋柳城女子大学の最後の入学生となることが決定されました。新入生・在学生および保護者の方々には、2月～3月のそれぞれの

機会に募集停止が伝えられ、複雑な思いを抱えた新学期となったのではないかと思います。我々教職員もこのことが学校生活へどのような影響を及ぼすことになるのか大変心配していました。しかし、4月に入学・進学した学生たちは「いつも通り」の明るさで、それぞれの課題に真剣に向かう姿を見せてくれています。彼女たちなりの心遣いも含まれているのかもしれませんが、この「いつも通り」のすばらしさを日々我々に再確認させてくれます。1年生は幼稚園などの実践で出会った子どものことをうれしそう話してくれます。2年生は幼稚園・保育所での本実習を前に期待と不安が入り乱れている様子です。3年生はそろそろ就職や卒業論文のテーマを考え始めています。4年生は最後の実習を終え、自らの卒業論文テーマに真剣に取り組

んでいます。「いつも通り」の学生生活の中で学生たちの成長を感じられることが、私たち教職員のエネルギー源となっています。

現在在学している学生たちが、「名古屋柳城女子大学で学んでよかった」と卒業していけるよう、これからも今できることに集中し教育実践を続けてまいります。ご支援の程よろしく願いいたします。

（学部長 野田 さとみ）

名古屋柳城短期大学

Ⅱ 柳城の伝統と新たな展開

本学は創立以来127年に渡り、幼児教育、保育に携わる人材を育て社会に送り続けてきました。その社会的使命は今後も変わらぬものですが、時代や社会の変化やニーズを捉え、教育、

保育者養成の在り方を模索し、必要に応じ変えていくことも時に重要です。今日では一人一人のその人らしさを尊重する“多様性”が重視され、教育や保育の場でもそのことが謳われています。本学では今年度より、これまでの短大2年間での学びのスタイルに加え、一人一人のニーズに適った学習の機会を提供するために、同じカリキュラムを3年間で学ぶ3年コース（長期履修コース）を新設しました。

2年コースは、最短で資格や免許を取得したい、早く保育現場で働きたい等のニーズ、3年コースは、時間をかけて自分のペースで学びたい、ゆとりある時間を活用し保育アルバイトやプラスの学びをしたい等のニーズに対応できるよう、教育体制、学びの環境を整え、4月よりスタートしたところです。コースは分かれています、授業はあえてコースでクラス分けをせず、合同で行っています。多様な人と交わることで、広い視野、寛容の心等、保育者としても必要な資質が育まれることを期待するからです。実際入学後の学生たちの様子から、コースの違いを超えて交流している姿が見られます。

毎年4月に全学で行う合同ゼミナールでは、柳城の伝統でもある異学年交流、さらに現場で活躍する卒業生も協力参加してくれ、在校生と卒業生の交流も大いに盛り上がりました。様々な人と交流しながら互いに学び高め合えるのは、柳城ならではの文化です。

2026年度からは3年コースに小学校教諭免許状も取得できるコースを新設し、より広い視野で子ども理解のできる実践家の育成、学生の学びや進路選択の幅を広げることを意図して、新しい取り組みを始めます。柳城の発展に向け、学科一丸となり努めて参ります。（学科長 野崎 真琴）

キリスト教センター

Ⅱ 一度はおいで！柳城の礼拝+

皆さん、礼拝の曜日と時間帯はご存

じですか？答えは………！大当たり！毎週水曜日の5限の時間帯で、16：30～17：00に行われています。

4限で授業が終わると、ホッとして帰りたい気持ちになるのは当然のことですね。でも、ちょっと待ってくださいね。前期・後期で各1回ずつ、合計2回は礼拝に出てみませんか？それが無理なら年に1回でもよし！

では、礼拝って何をするのでしょうか？「キリスト教概論」の授業と何が違うのでしょうか？それは、礼拝には、聖書の御言葉を聴くこと、お祈りすること、神様を讃美することの3つがあるということです。神様は、あなたにどのような道を示しておられるのでしょうか。悩みのある方は、お祈りの中で神様にそっと打ち明けて、助けを求めてみませんか？そして、讃美歌を歌うと、ガサガサした心が穏やかになります。

今年から、サーバーや受付担当は、四大生は輪番で行われており、ちょっと緊張しながらも白い服を着て神聖な気持ちを経験しています。短大生は宗教委員が務めています。オルガニストも随時募集しておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

（キリスト教センター 柴田 智世）



図書館

Ⅱ 企画展のご案内

2025年度の図書館では、絵本等の企画展を、学内の学生や教職員だけでなく、オープンキャンパスに来られた高校生や保護者の方にも閲覧していただこうと、オープンキャンパスの日程に合わせて次のような企画で開催して

います。

- 4月：仕掛け絵本の展示
- 5月：年齢別おすすめ絵本・紙芝居の展示(実習用の展示期間を延長)
- 6月：多言語絵本の展示
- 7月：認定絵本士講座のおすすめ絵本の展示

4月の仕掛け絵本の展示では、精巧な仕掛け絵本が数多く展示され、来場者からは、仕掛けの素晴らしさに驚きの声が上がっていました。

後期にも図書館の魅力を伝える企画を予定しています。

本学図書館の絵本や紙芝居の蔵書数は全国的にみても誇れる数ですので、それを広く知っていただきたいです。また、愛知県下でも数少ない認定絵本士の資格を取得できる大学です。

ぜひ、ご来館ください。

（図書館 小嶋 玲子）



幼児教育研究所

Ⅱ 「2歳児さんの日」を設定して

地域の子育て支援事業の一つである「りゅうじょうひろば」の「すくすくタイム」は長年、0・1歳児さんを対象に実施してまいりましたが、2025年度は月1回程度の割合で「2歳児さん」の受け入れを行うことになりました。発達の特徴からして、0歳児さんは親子の愛着関係を基に少しずつ外界のモノやヒトに関心を示し始めます。



1 歳児さんは歩行や言葉の獲得が順調に進んで、室内での感覚遊びや絵本にも大きな興味を示します。そして 2 歳児さんは、自分の意志が出てきて、遊びたい意欲、モノに関わる自発性も見られるようになり、大人からの関わり方にも大きな変化が出てきます。保育を学ぶ学生さんたちが積極的に子ど

もさんに関わる学習の機会を広げたいというのが、2 歳児受け入れの趣旨です。学内にある子育て支援の施設を使って、学生さんの学びが深まることを期待しています。

2024 年度は昭和区の生涯学習センターとの共催講座が 4 回開催され好評でした。1 歳児の育児に関わる音楽・

絵本・楽器などの講座で本学の先生方の協力を得て専門を生かした講座が行われました。今年も継続の予定です。少子化が進み育児が困難な時代ですが、保育を学ぶ学生と教員が手を結んで地域の方々との子育て支援の輪を広げていく場でありたいものです。

(幼児教育研究所 豊田 和子)

■ 教学事務室より

フレッシュマン リトリート

2025 年 4 月 8 日、名古屋柳城女子大学 1 年生が、フレッシュマンリトリート（新入生研修会）で WAKU ブロックを用いた積木の研修を行いました。講師として和久洋三のわくわく創造アトリエ覚王山プレイルーム 木のおもちゃ専門店ゆうばの勝田潔先生をお招きし、積木遊びの楽しさと奥深さを教えていただきました。お手伝いとして小野ゼミの 4 年生 4 名も参加してくれました。

研修の前に、山本聡子先生によるフレーベルの遊びの紹介があり、三輪雅美先生のピアノ伴奏に合わせて 1 年生全員で楽しみました。音楽と一体となったフレーベルの恩物を使った遊びを通して、少しぎこちなかった 1 年

生同士が自然と仲良くなっていました。

続いて勝田先生のご指導の下、2 つのグループに分かれて大きなタワーを作りました。立方体と直方体の 2 種類を単純な規則で積んでいくだけで、大きくて丈夫なタワーが完成しました。下の積木を外して、大きな穴をあけても壊れてきません。これには全員びっくりしていました。実際に子どもたちが遊ぶ時のようにくぐれる大きさの穴をあけて、中に入って楽しみました。

次に 3 人のグループに分かれて、円柱や三角柱の積木も使い、思い思い

のイメージでタワーを作りました。高く積むグループあり、積木の種類を一段毎に変えて積むグループありと個性豊かなタワーが完成しました。勝田先生からは子どもに合わせた積木の楽しみ方や子ども達への伝え方も教えていただき、保育を学ぶ学生として充実した研修となりました。

学生からは、大人になってもこんなに積木で楽しめるとは思わなかった、仲間で助け合う経験がよかった、年齢に合わせた遊び方を知り、これから活用していきたいといった感想がありました。

(こども学科 片山 伸子)



合同ゼミナール

夢ゼミを通じた学年を越えた交流

名古屋柳城短期大学では、4 月に新

入生と 2 年生との交流を目的とした「合同ゼミナール（通称：夢ゼミ）」を実施いたしました。本行事は、学年を越えたつながりを築くことを目的とし、毎年恒例の取り組みとして定着し

ています。

第 1 部では、各ゼミに分かれての交流活動が行われました。2 年生が中心となり、自己紹介や、新入生に対して大学生活の実際や授業の進め方など



を伝え、和やかな雰囲気の中で活発な意見交換がなされました。新入生にとっては、先輩から直接話を聞くことで、今後の学生生活に対する不安が軽減され、安心感を得る貴重な機会となったようです。

続く第2部は、会場を体育館に移して実施されました。ここでは、本学の卒業生で構成されたパフォーマー「あまりやんず」の3名をお招きし、エネルギッシュなステージを披露していただきました。さらに、バルーン

ゲームやワークショップ、全員でのダンスなど、参加者全員が一体となって楽しめる多彩なプログラムが展開され、会場は終始、笑顔と活気に包まれていました。特に、「あまりやんず」の皆様が本学の卒業生であることに、多くの学生が驚きとともに親しみを感

じ、将来の自分の姿を重ね合わせる姿も見受けられました。先輩方の姿から多くの刺激を受け、学びへの意欲を新たにした学生も少なくなかったようです。

夢ゼミは、単なるレクリエーションにとどまらず、学生一人ひとりが主体的に関わり、他者との関係性を築く力を養う貴重な機会です。本行事を通じて得た経験が、今後の学生生活における大きな支えとなることを期待しています。

(保育科 榊原菜々枝)

特別給付奨学金

特別給付奨学金奨励奨学生（前年度学年末 GPA 順位上位者）の表彰式を6月11日（水）に行いました。

奨学生のみなさんおめでとうございます。引き続き、学業に励んでください。

〈こども学科2年生（2024年生）〉

- 佐藤 綾音さん
- 石川 美優さん
- 河合 美月さん

〈こども学科3年生（2023年生）〉

- 安藤 愛花さん
- 筒井 彩葉さん
- 古川 愛奈さん

〈こども学科4年生（2022年生）〉

- 間野 爽萌さん
- 松崎 早恵さん
- 稲向 美琴さん

〈保育科2年生（2024年生）〉

- 前原 彩花さん
- 池上 結さん
- 鍋倉 綾さん
- 安部 璃胡さん
- 松永 琴葉さん
- 福田 愛弥さん

同窓会（のぞみの会）より

信号待ちでふと、前のお姉さんのTシャツの背中が目に入りました。

「Do what you love」気になって調べたら、あちこちで引用される有名な言葉らしいのです。続きがあり「～Love what you do」「好きなことをしよう。していることを愛そう。」なんと素敵な言葉でしょう。好きなことを仕事にし、そこから喜びや充実感を得られるなら素晴らしい毎日が過ごせそうです。

保育の仕事というのはまさしくこれでしょう。子どもが好きだから保育の仕事をし、やりがいを感じ、時には子どもたちの笑顔から自分もまた愛されている喜びを感じることができるのですから。

ただ、この言葉を仕事というものに当てはめると、何やら少し気持ちの悪さを感じます。社会で何らかの活動をするということは思い通りにならないこと、誤解されたり絶望することもあります。好きなことを仕事にしたばかりに、つらい目にあいそのものも嫌いになってしまうことだってあるでしょう。

私は「Do what you love」の前に「This is your life.」を置き「あなたの人生だから、好きなことをしよう。」くらいで生きていくのでちょうど良いと思います。それが仕事じゃなくてもいい、つらい仕事も頑張れるような力を得ることのできる何か、でいいと思いま

す。何であれ「愛をもって」挑めるのなら行動も結果も愛すべきものになるでしょう。

(同窓会長 鎮旗 真弓)

後援会より

みなさま、日頃より後援会の活動にご理解とご支援を頂きありがとうございます。

本年度、会長を拝命しております清水と申します。不慣れではございますが一年間どうぞよろしくお願いいたします。

さて、娘も卒業年次として今年多くの実習に参加しております。

本校が長い歴史の中で築き上げた業界との信頼関係で多くの実習受入れ先があると聞いております。実際、娘も保育の道を志すきっかけとなった母園にて毎日緊張しながらも一生懸命頑張っております。どこの園や施設でも柳城 OG の活躍を多く聞き、嬉しく思うと同時に誇らしい気持ちになります。

現在も多くの卒業生が社会で活躍しており、まさに柳城の先輩方が本校の一番の強み・魅力だと感じています。

また授業だけでなくボランティア活動やサークル活動、海外研修など充実したカリキュラムがあるのも柳城のよい所だと思っています。充実した学校生活を提供して下さっている本学園を後援会では微力ながら支援をしていけたらと思っています。みなさ

まと一緒に笑顔で頑張っていきますので、ご協力の程よろしく願いたします。

(後援会長 清水知子)

2025年度 後援会役員（敬称略・順不同）

	役職名	氏名
1	会長	清水 知子
2	副会長	大石 葉子
3	会計監査	伊藤 りか
4	会計監査	高橋真由希
5	委員	小林 笑子
6	委員	三浦 由美
7	委員	橋本 直子
8	委員	羽場 智子
9	委員	加藤ひとみ
10	委員	瀧川 伸江
11	委員	望月 聖
12	委員	鈴木 友巳
13	委員	鈴木 夏世
14	委員	柳 加奈子
15	委員	森永 千秋
16	委員	赤城 美樹
17	委員	坂東 加奈
18	委員	齋田美和子
19	委員	野間 玲那

■ 入学センターより

2025 年度 入試結果

2025 年度入学者につきましては、名古屋柳城女子大学こども学部こども学科が 18 名、名古屋柳城短期大学保育科が 90 名となりました。

大学（定員 70 名）、短大（定員 100 名）とも定員には満たず、大変厳しい結果となりました。

少子化が進んでいること、高校生女子の業界選択の幅の広がり、不適切保育についてメディアで報道されることによる、保育職への不安からか、保育・幼児教育志望の生徒の減少により、厳しい外部環境にさらされていることも要因と考えます。しかしながら、「保育の柳城」の魅力を広く知ってもらうため、保育職の魅力も発信しつつ、高校生に柳城の教育を共感していただく

広報を行い、入学者の確保に努めます。

卒業生の皆様にはぜひ柳城の良さを親族、近隣の方にアピールして頂ければ幸いです。毎年入学生から、柳城を卒業生の方に勧められて受験したという話を聞きます。ぜひ身近に保育・幼児教育への進学を希望される方が見えましたら、本学への受験をお勧め頂ければ幸いです。

2026 年度 入試概要

入学センターでは入学生の獲得に向けて、受験生一人ひとりに寄り添った広報活動を進めています。

総合型選抜入試

総合型選抜入試を年明けまで 4 期に渡って実施いたします。

保育者を目指し、柳城での学びに積極的な方であれば、出願資格において成績・欠席日数を問いません。選考については、一次選考として、プレゼンテーションと面接を行います。プレゼンテーションとしては①対話重視型、②プレゼン型、③保育表現型と受験生が自身のアピール方法を選択できる方式となっています。一次選考の結果、出願を認められた方については、高校が発行する調査書等の提出をもって書類選考を行い、合否判定します。

学校推薦型選抜入試等

公募制推薦入試については、専願型 1 種類で実施します。出願書類に課題作文をあわせて提出していただきます。試験内容は提出された課題作文を基に質疑応答と面接で合否判定を行います。

指定校推薦入試は志望理由書に基づ

く質疑応答・面接を行います。

特別推薦入試

柳城独自の入試として**同窓生推薦入試**、**キリスト教会推薦入試**、**園長推薦入試**の 3 つがあります。

同窓生推薦入試では、出願資格として、本学を卒業された方（在学中の方も含みます）のお子様、お孫様、兄弟姉妹の方が対象となります。どの種別の入試でも合格された際は入学金 24

万円の全額を免除しています。また、柳城学院の附属幼稚園（柳城、豊田、三好丘聖マーガレット）の卒園者は、どの種別の入試でも、合格された際は入学金が全額免除となります。詳しくはお問い合わせください。

キリスト教会推薦入試は出願資格として、信徒並びにその子女で、聖職者が推薦する者となっています。合格者は入学金が免除されます。

園長推薦入試は、幼稚園、保育所、施設など保育現場の園長先生、施設長

2026 年度 入学試験日程（2025 年～2026 年）

入試区分		入学試験日	出願期間 [最終日必着]	合否発表日 (合否通知発送日)	入学手続期間
総合型選抜	総合型選抜1期入試	書類選考のみ (一次選考日8/2(土))	9/1(月)～9/12(金)	11/1(土) 10/31(金)	11/1(土)～11/7(金)
	総合型選抜2期入試	書類選考のみ (一次選考日9/20(土))	10/6(月)～10/24(金)	11/1(土) 10/31(金)	11/1(土)～11/7(金)
	総合型選抜3期入試	書類選考のみ (一次選考日10/18(土))	10/27(月)～11/6(木)	11/14(金) 11/13(木)	11/14(金)～11/21(金)
学校推薦型選抜	指定校推薦入試	11/15(土)	10/27(月)～11/6(木)	12/2(火) 12/1(月)	12/2(火)～12/9(火)
	公募制推薦入試	11/15(土)	10/27(月)～11/6(木)	12/2(火) 12/1(月)	12/2(火)～12/9(火)
特別推薦	同窓生推薦入試	11/15(土)	10/27(月)～11/6(木)	12/2(火) 12/1(月)	12/2(火)～12/9(火)
	キリスト教会推薦入試	11/15(土)	10/27(月)～11/6(木)	12/2(火) 12/1(月)	12/2(火)～12/9(火)
	園長推薦入試	11/15(土)	10/27(月)～11/6(木)	12/2(火) 12/1(月)	12/2(火)～12/9(火)
一般選抜	一般選抜入試	2026/1/24(土)	1/6(火)～1/16(金)	1/29(木) 1/28(水)	1/29(木)～2/13(金)
特別選抜	社会人入試	2026/1/24(土)	1/6(火)～1/16(金)	1/29(木) 1/28(水)	1/29(木)～2/13(金)
	海外帰国生徒入試	2026/1/24(土)	1/6(火)～1/16(金)	1/29(木) 1/28(水)	1/29(木)～2/13(金)
総合型選抜	総合型選抜4期入試	2026/3/7(土)	2/20(金)～2/27(金)	3/12(木) 3/11(水)	3/12(木)～3/19(木)

に高校生を柳城に推薦していただく入試制度です。

園、施設などにボランティア等で頃から関わりのある高校生の方で保育者養成校への進学を希望される方がいらっしゃいましたら、お勧めいただければ幸いです。なお、この入試で合格

された方は、入学金が半額減免となります(24万円が12万円となります)。

一般選抜入試

一般選抜入試については、国語のみの1科目入試です。

入学センターでは、入試に関するご相談やお問い合わせをお受けしております。お気軽にお電話ください。

入学センター

電話：052-848-8281 (直通)
e-mail: kouhou@ryujo.ac.jp

2025年度オープンキャンパス並びに キャンパス見学・入試相談会の開催について

柳城は“受験生に優しい入試”をコンセプトとします。2025年は3月からオープンキャンパスを開催しています。柳城を知っていただく機会を多くつくり、受験生の皆さんに1人でも多く来場していただこうと企画しています。オープンキャンパスのほか、キャンパス見学・入試相談会も設定しています。

またオープンキャンパス、キャンパス見学・入試相談会に参加した受験生に「参加証明書」を配布しています。

この証明書を出願の際に同封することにより、**入学検定料を通常の3万2千円から2万円に減額いたします。**

開催日時は以下のとおりです。

オープンキャンパスでは大学、短大紹介、入試説明、柳城生のライブトーク、授業体験、キャンパスツアー、保育ワークショップ、就職情報展示会、入試個別相談会、ピアノ相談会などたくさんのプログラムを用意しています。

また、キャンパス見学・入試相談会は、入試説明、入試相談の他、キャン

パス見学をしていただく機会です。身近に保育職を希望する、あるいは興味関心のある方が見えたら是非参加をお勧めください。

今後の開催期日

■オープンキャンパス

8/24日 9/21日 11/1日

■キャンパス見学入試相談会

8/3日 9/13日

10/11日 *柳城祭と同時開催

事前予約申込制で開催します。
詳細は本学 Web サイトをご覧ください。

2024年度就職状況

2024年度は、こども学部こども学科の学生35名が卒業しました。全員が就職を希望し、就職することができました。保育職は全体の94.3%を占めました。

保育科は90名が卒業しました。その内86名が就職を希望し、1名が進学を希望しました。それぞれが進学、就職をすることができました。保育科は保育職が全体の95.3%を占めました。

学生は説明会や園見学に足を運び、ボランティアにも参加するなどして、自分が働きたいと思える園がみつけれられるよう就職活動に取り組みました。また、自分の思いを胸に、夢に向かって就職活動に励んだ学生もいました。

今後それぞれの職場で、やりがいを持って働き、充実した人生を歩んでもらえることを祈念しています。卒業生の方が笑顔で輝いている姿を見ることが、就職課職員の何よりの励みです。

2024年度も昨年度に続き、保育の求人件数多く(幼稚園・保育園・こども園の求人件数1,126件)いただくことができました。保育現場からの、柳城への期待を感じずにはられません。

今後も伝統と実績に感謝しつつ、それをしっかりと守っていくための努力を続けて参ります。

こども学部は募集停止となりましたが、在籍

するすべての学生が卒業するまで、責任をもって進路支援を行ってまいります。そして、学生一人ひとりが満足度の高い就職ができるよう、教職員全体でより連携を図り、学生に対するきめ細やかな支援を行っていききたいと思います。

(就職課)

2024年度卒業生

	卒業生数 (人)	就職希望者 (人)	就職率 (%)	進学者 (人)	就職希望なし (人)
こども学部	35	35	100	0	0
保育科	90	86	100	1	3



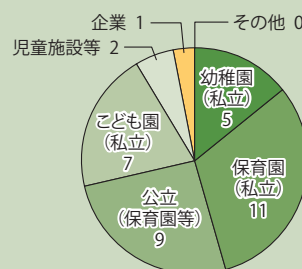
就職課Instagram



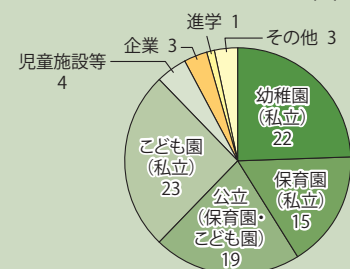
LINE

2025年3月31日現在

2024年度こども学部卒業生 35人



2024年度保育課卒業生 90人



チャプレンからの メッセージ



わたしが名古屋にやって来たのは、学生の皆さんが生まれるよりずっと前の1991年でした。名古屋で暮らし始めて戸惑ったのは、模造紙のことを「B紙」ということや、「食べれる」という、いわゆる「ら抜き言葉」を、年配の大人の人たちが使うということでした。みんな名古屋弁だから、そうなのですが、「正しい」言葉遣いを躰けられてきた、わたしにとってはどうも居心地が悪くてしかたがありませんでした。

「食べられる」と正しい言葉遣いをしたほうが良くないですか？ というわたしの質問に、名古屋の人たちは『『食べられる』だなんて、スカした感じがして嫌だがね』と応答してくださったのです。

わたしは1999年～2001年、韓国に留学をするのですが、そこでは食べ物や箸と箸で受け渡しをする光景に、度肝を

や文化によって異なるものであることを、念頭において生活することが、わたしたちが高慢にならずに学びを深める上ではとても重要です。

しかし、人を愛すること、『愛をもって仕えよ』ということ、いのちを尊ぶことなど、時代や年代、地域や文化を超えて、変わらずに大切にされなければならない正義の事柄を、人としてしっかりと心に留めることは、それ以上に重要なことです。

チャペルでの礼拝の時間が、その『愛をもって仕えよ』をしっかりと心にとめるときであり、わたしたちチャプレンは、皆さんがその大切な事柄をしっかりと心に留める手助けをさせていただくためにいるのです。

水曜日のチャペルの時間はもちろん、いつでも大切なことが分からなくなったとき、チャプレンに会いに来てください。

変わらずに大切なこと

チャプレン 後藤 香織

抜かれました。当時まだ火葬が一般的ではなく骨上げの習慣も違う韓国では、箸と箸で食べ物を受け渡すことは、タブーでは無かったのですね。

その他にも、礼拝堂では帽子を脱ぐ、脱がない等、わたしたちが持っている“正しさ”の規範は、時代や年代、地域



2025年度から、チャプレンとしての働きに加えて「キリスト教概論」という授業の講師を務めています。受講生は90名（前期）。やんちゃな学生たちも多いので、なかなか大変です。

そんなやんちゃな学生の一人が、ある日、教会でピアノを弾いていました。聖歌『いつくしみ深き』です。「上手に弾けるじゃん！」と感心しながら聴き入っておりますと、突然、周りで見えていた他の学生たちが、その場

にあった段ボール箱を抱えて、太鼓のように叩き始めたのです。「いつくしみ深きー♪（ドンドコドンドコ）とーもなるイエスはー♪（ドンドコドンドコ）」

ピアノと段ボール箱のセッションをする彼女たちの様子は、さながらラテン音

楽器使わんといてクレメンス？

チャプレン 柳川 真太郎

楽のミュージシャンのようでしたが、その光景を見ながら、「どうしてキリスト教音楽にはオルガンやピアノ以外の楽器があまり使われないのだろう」と疑問が浮かんできました。

2世紀に活躍した「アレクサンドリアのクレメンス」というキリスト教の神学者がいます。彼は、楽器というものが人間のあらゆる感情を高ぶらせる道具であ

り、言葉と理性を大切にするキリスト教には相応しくないと考えました。それ以降、キリスト教の礼拝では何百年もの間、楽器の使用が禁止され、単旋律の歌唱のみが行われ続けました。ポリフォニーの導入やオルガンの使用は中世中期以降を待たねばなりません。

今も無伴奏を続ける正教会などを別として、世界のキリスト教諸教会の礼拝では、特に20世紀以降、様々な楽器が用いられるようになっていますが、（日本聖公会を含む）伝統を重んじる教会では、様々な事情からなかなかオルガンやピアノ以外の楽器の導入が遅れています。段ボール箱で『いつくしみ深き』をアレンジしてみせた柳城生たちの自由な発想力は、保育・教育の世界の至宝であるばかりか、現代のキリスト教界にとっても、これからの教会が豊かな礼拝をささげるための大きなヒントを与えてくれるものだと感じました。

■ 名古屋柳城短期大学 附属幼稚園より

柳城幼稚園より



2025年度子どもたちの元気な声でスタートし早や2か月が過ぎようとしています。年々減少していく出生率、園児数の激減も予想していた今年度でしたが、幸いなるかな例年並みの園児数でのスタートとなりました。しかも今年度は満三歳児の入園予約が早くから伸び年度末には昨年度同様の園児数を得ることができそうな様子で胸をなでおろすところです。

さて、今年度は特に当園の園芸部長がお米づくりにチャレンジしています。しかも素人には困難であるとされるもみ殻からの発芽も行いました。また、苗については附属豊田幼稚園の先輩の先生からいただきご協力を得て行いました。稲を植える泥に関しては地元の農家さんにご協力いただいて園まで運ぶなど信念を持って進めています。毎日のように報道されているお米にまつわる様々な問題。今まで当然のことのようにあると思っていたお米が店頭から消え、価格が高騰しています。そんな中政府の様々な対応策も追いつかず今更ながら農家の方々のご苦勞を

感じる次第です。そんな中子どもたちとお米づくりにチャレンジしその大変さを感じ、食卓にご飯として上がるまでにはどのような苦勞があるのかをどこかで感じ取ってほしいとの願いからのチャレンジです。他にもミニトマトやきゅうりなども一緒に苗を植え、水をやり日々その成長を子どもたちと共に見守っています。この一連の活動を通して世界中でその日の食べるものにも事欠く人たちがいることも知り、食べ物の大切さと食べ物を提供してくださる方々への感謝の気持ちを育みたいと願っています。

さて、今年度は例年5月に遠足に出かける近隣の名城公園が工事の為此での遠足を断念せざるをえませんでした。別の場所へもと考えたのですが、いやまてよこの機会に行事の時期を見直してみようとなり、今まで残暑残る中練習もままならない秋に行ってきた運動会を前倒してファミリー運動会として行ってみようかと。元よりばり行事の為に練習を重ね日常の遊びを犠牲にすることはしてこなかった当園ですが、日常生活の延長線上に据え、



暑さもまだそこまでではない時期に当日の親子の触れ合いをメインに行ってみよう。この学報が発刊される頃にはその結果は出ていることと思いますが、果たしてその結果は？

既成概念にとらわれることなく、時代の変化を読み取りながら、今の子どもたちに必要な事柄を模索しながら楽しい遊びや活動を一緒に進めていきたいと思っています。社会環境が子どもたちの未来にとって決して易しいものではないと感じる昨今、そんな中でも自分自身を見失うことなく逞しく生き抜いてほしいと願うばかりです。子どもたちが神様から愛されかけがえのない尊い存在であることをこの幼児期にしっかりと感じ取ってほしいものです。そのために日々の生活の中で自分の素敵なところが輝いていけるようにその成長を見守っていききたいと思っています。

(園長 織田純代)





子どもたちをありのままに受け入れ愛されたキリストの愛をもとに聖書の言葉からとられた「愛をもって仕えよ」の柳城学院の精神は、豊田幼稚園が幼保連携型認定こども園となつてから、ますますキリスト教保育・教育の重要な理念や指針を踏まえた環境構成に繋がっています。自分が愛され受け入れられていると感じ取った子どもは、自分以外の存在にも目を向け、人と人が互いに支えあい、愛し合う素晴らしさを知っていきます。それは老若男女・障がいの有無や人種・宗教・民族の違いも超越したインクルーシブな保育・教育環境です！

新しい一年の始まりと出会い

それぞれに新しい環境の中で、少しずつ安心できる“場所”や“人”を増やしながら園生活に慣れていることを、子どもたちの声や表情で感じています。この素晴らしい出会いをくださった神様と子どもたち、柳城豊田幼稚園を選んでくださった保護者の皆様に感謝を込めて日々大切に過ごしてまいります。



「アッ、チョウチョ」

心地よい気候に誘われて、子どもたちも外遊びを楽しんでいます。小さな図鑑を眺めて指さしては「アッアッ」「チョウチョ！」テントウムシが気に入ったのかな？図鑑に載っていたテントウムシを小さな手でつまみます。

(うーん、どうしても捕まえられないなあ) 園庭の木陰ではミミズを見つけ「ミミズ!」「いた!」果敢にミミズとの距離を狭めていました。



「こうして こうなりました」

2歳児の子どもたちが砂場で「ねえ、コレは?」「持ってくる」「よいしょよいしょ」トンネル型の筒を繋げて重ねて、砂を入れ、ちょっぴり不安定。でもこのドキドキ感がたまらない。「ねえ、もう一個ね」「砂入れる」さあ、4つ目の筒が重なるかどうか。ドキドキハラハラ。「きやあああ〜」「ワハハハ〜」大笑い。(写真のように) こうして こうして こうなった微笑ましい一場面でした。



「みどりのかおり」

ふんわり香る みどりの香り
ふわふわふわあ〜シロツメクサの花や葉が園にたっぷりと届きました。子どもたちは鮮やかな緑色と楽しそうな雰囲気誘われて集まりました。草花を集めては宙を舞わせ「もう一回」「えへへへ」「わははは」大笑い。草花が舞うたびにみどりの爽やかな香りが心地よく、清々しい気持ちになりました。



だいがく+いも=だいがくいも

年長児がさつまいもの苗入れをしました。さつまいもには様々な種類があることや、料理があることを知りました。その中で「さつまいもってどうやって食べる?知っているかな?」という問いかけに、子どもたちから「大学芋」と意見が出ました。大学芋を知っている子もいれば初耳の子もあり「だいがくいも?」「大学生が食べるおいも?」頭の中ではだいがく+いも=だいがくいもの出来上がり。

年長さんの苗入れを熱いまなざしで見つめる年少さん。「何をしているの?」「なににサツマイモなの?」「いま食べたい!」「すぐ食べたい!」収穫まで待ってられない、何が何でも“今”食べたい。



地域に根差した認定こども園に

子どもたちだけでなく、保護者の皆様をお支えするのも地域のこども園の大切な役割です。

地域にお住まいの親子・在園児家族向け支援『にじいろ』では、子育て支援室・園庭開放やパパママ先生、各種講演会、相談会など開催中。

子育て支援室の活動を通して、

- 子育ての楽しさを共有する場所の提供
 - 子育ての悩みや不安を軽くする考え方や、子どもの捉え方の提案
- を大きな柱として、地域に根差した認定こども園を目指しています。



(園長 小野隆・久松仁美)



25 周年を迎えるとともに

まずは、読者の皆様にお知らせしなければいけないことがございます。このたび、三好丘聖マーガレット幼稚園

は、2028年3月末をもって閉園することとなりました。25年前、地域からの期待を受けて、幼児教育の先進技能を生かし開園、その後も長らく信頼を得てまいりました。もちろん、現在もその信頼は失ってはおりませんが、みよし市全体の保育方針として、預かり中心の保育園や認定こども園への充実化が進み、ここ数年は定員を充足することができず、このたび閉園を決断いたしました。

今後は、年少組が卒園することをもって閉園を迎えることとなりますが、日常は何ら変わらず、園児が日々

安心して、楽しく過ごせるように保育を続けてまいります。私たち教職員も保護者と連携しながら、笑顔で園児と向き合っています。

また、保育者養成の学校を卒業後、附属幼稚園としてその後の受け入れ先としての役割も引き続き果たしてまいります。残りの期間も、幼児教育の専門性を誇りにもち、地域を牽引できる幼稚園として努力していく所存です。

25周年を迎えるにあたり、そのお約束を果たしてまいります。



今年度のキリスト教保育の年主題は“ともに”です。マーガレット幼稚園のテーマは、“進もう～仲間とともに～”に決めました。いつでもどこでもどんな時でも、神さまとともに、友だちや保育者とともに、世界とともに、愛に満ちて歩みを進めていく事を大切にするテーマです。前年度よりも前に進みながら、時には逆風に負けて後退することがあったとしても、しっかりと前だけを向いてみんなで一丸となって進みたいという願いを込めました。

園や子どもたちの様子は前年度にも増して、一人ひとりの子どもとじっくり丁寧に関わっていける環境にあります。とてもアットホームな雰囲気の中で、泣いて登園渋りの子ども今年はずっとも少なかったです。子どもたちは毎



日の遊びの中で探求しながら、発見を楽しみ、遊びを深めています。時には甘えたい気持ちを受け止め、そのままの自分でいいんだよ、と一人ひとり愛する保育の中で、ともに子どもたちと職員が過ごしています。

春から夏の季節を感じながら、水遊び、泥んこ遊び、色水遊びを楽しんだり、シロツメクサを指輪にしたり、毎



日ダンゴムシやアリを捕まえている子もいます。自然の中でのびのびと遊び込める素敵な季節になりました。

最近、カメさんも幼稚園で飼うことになり、子どもたちは観察したりお世話をしたりと、生き物や命を大切にする気持ちも育っています。

今週は近くに住んでいるヤギさんも園に遊びに来てくれました。

週に一度、体操の先生の遊びの中から体の使い方を学んだり、体力づくりに繋がる活動を教えてもらったり、広い園庭では鬼ごっこでたくさん走り回る子や鉄棒、雲梯を毎日コツコツ頑張る子…色んな遊びを毎日経験しながら、友だち同士の人間関係も育んでいるところです。

(園長 制野司・主任 北野明子)



2024 年度 会計報告

資金収支状況

(単位：千円)

科 目		2023 年	2024 年
収入の部	学生生徒等納付金収入	482,672	405,388
	手数料収入	4,866	9,235
	寄付金収入	6,101	5,914
	補助金収入	391,708	410,418
	資産売却収入	0	0
	付随事業・収益事業収入	27,534	23,838
	受取利息・配当金収入	4	213
	雑収入	67,962	34,775
	借入金等収入	0	0
	前受金収入	24,600	17,350
	その他の収入	35,180	97,466
	資金収入調整勘定	△ 126,324	△ 120,429
	前年度繰越支払資金	414,325	256,147
支出の部	収入の部合計	1,328,633	1,140,317
	人件費支出	768,444	667,048
	教育研究経費支出	175,385	142,961
	管理経費支出	83,189	90,050
	借入金等利息支出	908	849
	借入金等返済支出	13,056	13,056
	施設関係支出	10,156	660
	設備関係支出	28,918	7,547
	資産運用支出	1,200	1,207
	その他の支出	34,532	40,887
	資金支出調整勘定	△ 43,305	△ 45,733
	翌年度繰越支払資金	256,147	221,783
	支出の部合計	1,328,633	1,140,317

[2024 年度決算状況]

1. 収支の状況

2024 年度に於いては、経営状態を示す事業活動収支計算書では、事業活動収入 890,973 千円、事業活動支出計は 1,045,255 千円となり、昨年度に続き、支出超過となった。活動区分による教育活動資金収支差額は△ 12,093 千円、事業活動収支計算書による教育活動収支差額は△ 164,660 千円、基本金組入前当年度収支差額は△ 154,282 千円となった。これは、各部門で定員未充足による学生生徒納付金をはじめとする収入科目の減少と早期退職制度も含めた退職金、及び附属幼稚園での人件費の増加に起因する。また、資金収支計算書に於いても 18 歳人口の減少と保育・幼児教育分野の学生募集に於いて専門学校との競合など学生確保に苦慮し厳しい財政につながっている。これを踏まえ、今年度理事会において来年度からの 4 年制大学と附属三好丘聖マリーガレット幼稚園について募集停止を決議した。反面で各部門での経費削減も有り、予算より繰越支払資金は増加した。

2. 貸借対照表

総資産額は 3,126,190 千円となり前年対比 168,745 千円減少した。固定負債は、附属豊田幼稚園園舎改築資金借入金 168,640 千円を含め 316,845 円、流動負債は、104,191 千円で前年度比 12,666 千円増加した。

[学院：事業活動収支差額の経年変化]

■ 事業活動収入

学生生徒等納付金、補助金などの学校法人の負債とならない収入

■ 事業活動支出

人件費、消耗品費、光熱水費などの消費する支出及び資産の消費額

■ 基本金組入前当年度収支差額

事業活動収入 - 事業活動支出

■ 事業活動収支差額比率

基本金組入前当年度収支差額 ÷ 事業活動収入。率が高いほど自己資本が充実していることを示す。少なくとも、10%以上が望ましい。

※ 2015 年度より学校会計基準が改正となり、帰属収入→事業活動収入、消費支出→事業活動支出と名称変更となりました。

事業活動収支状況

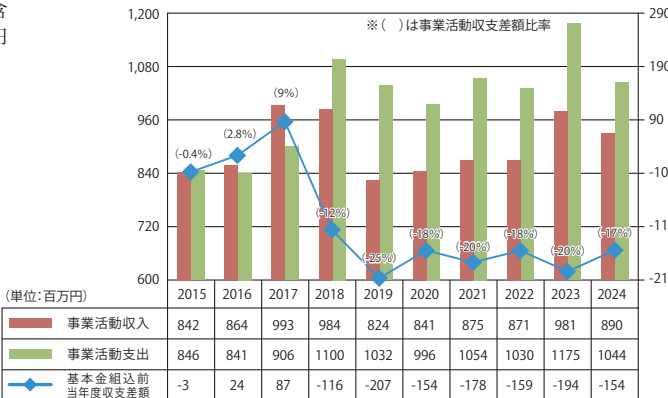
(単位：千円)

科 目		2023 年	2024 年
教育活動収入	学生生徒等納付金	482,672	405,388
	手数料	4,866	9,235
	寄付金	4,847	4,958
	經常費等補助金	378,170	400,459
	付随事業収入	27,534	23,838
	雑収入	67,962	34,775
	教育活動収入計	966,054	878,654
事業活動支出	人件費	769,451	666,832
	教育研究経費	315,410	280,578
	管理経費	89,609	95,892
	徴収不能額等	5	10
	教育活動支出計	1,174,477	1,043,314
教育活動外収入	受取利息・配当金	4	213
	その他の教育活動外収入	0	0
	教育活動外収入計	4	213
事業活動外支出	借入金等利息	908	849
	その他の教育活動外支出計	0	0
	教育活動外支出計	908	849
特別収支	資産売却差額	0	0
	その他の特別収入	15,553	12,105
	特別収入計	15,553	12,105
	資産処分差額	1,021	1,091
	その他の特別支出	0	0
	特別支出計	1,021	1,091
基本金組入前当年度収支差額		△ 194,793	△ 154,282
基本金組入額合計		△ 30,635	△ 21,080
当年度収支差額		△ 225,429	△ 175,363
前年度繰越収支差額		△ 1,673,934	△ 1,899,363
基本金取崩額		0	10,043
翌年度繰越収支差額		△ 1,899,363	△ 2,064,683

貸借対照表の推移

(単位：千円)

科 目		2023 年	2024 年
資産の部	固定資産	2,944,143	2,808,203
	流動資産	350,792	317,987
	(内、預金)	256,147	221,783
	資産の部 合計	3,294,936	3,126,190
負債の部	固定負債	343,975	316,845
	(内、借入金)	181,696	168,640
	流動負債	91,524	104,191
	負債の部 合計	435,500	421,037
基本金の部合計		4,758,799	4,769,837
翌年度繰越収支差額		△ 1,899,363	△ 2,064,683
負債及び純資産の部合計		3,294,936	3,126,190



■ 新任教職員

附属幼稚園

豊田幼稚園 教諭

こんにちは、この度4月から豊田幼稚園に就職いたしました。小野亜龍です。

柳城短期大学では、キリスト教教育について学びました。私はクリスチャンで大学に

入学してからキリスト教保育をとても学びたいとずっと思っていました。

いざ学んでみたらとても内容がふかくて保育にも活かせるなと思いました。「命の大切さ」「平和」などの教えは保育にとってとても大切な事だと思います。建学の精神「愛を持って伝えよ」を忘れずにこれからも一生懸命頑張りたいと思います。

子どもたちと笑顔で「愛を持って」楽しく過ごしていきたいと思います。

小野 亜龍



豊田幼稚園 教諭

4月から豊田幼稚園子育て支援室へ勤めることになりました。

キリスト教教育は初体験で現在勉強中ですが、以前エルサレムの教会で感じたあたたかな雰囲気や幼稚園で感じて頂けるように働きたいと思っています。伝統と文化を守り、よりよい社会が実現できるよう皆様と共に日々励んで行きたいと思

小野 教志



ます。どうぞよろしくお願いいたします。

豊田幼稚園 職員

久松 仁美



柳城との出会いから早15年近くが経ち、その中でありがたいう縁があり、保護者から柳城の教諭・特任職員・専任職員へと変化し、現在に至りました。柳城と出会った日から今も変わらない豊田幼稚園の“時間の流れ”“温かな雰囲気”が大好きです。保育室から聴こえるピアノの音色や子どもたちの歌声が日々の楽しみであり、季節の移ろいを感じながら子どもたち・保護者の皆様・職員と共に過ごせることを心から幸せであると感じています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

三好丘聖マーガレット幼稚園 副園長 内田 栄美

三好丘聖マーガレット幼稚園の副園長を務めさせていただき、日々元気一杯可愛さ満点の子ども達にパワーをもらっております。保育は平坦な道ばかりではなく困難もあります。そのような時こそ、保育者の道を選んだ初心に立ち戻り深呼吸を心掛けております。今後もより一層業務に精進して参ります。どうぞよろしくお願いいたします。



三好丘聖マーガレット幼稚園 教諭 森田真奈美

このたび、ご縁がありまして、マーガレット幼稚園で正規職員として勤務させていただくことになりました。森田真奈美と申します。

実は十数年前、私の娘もこちらの園で大変お世話になりました。当時、先生方の温かいご指導と園の暖かな雰囲気に触れ、子どもだけでなく私自身も多くのことを学ばせていただいた思い出があります。

そんな大切な場所で、今度は教諭として子どもたちと関わるができることに、感謝とともに身の引き締まる思いです。これまでの経験を活かしながら、一人ひとりの子どもたちの成長を大切に、保護者の皆様と共に寄り添い、温かい保育をしてみたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



三好丘聖マーガレット幼稚園 教諭 横江 美和

今年度よりマーガレット幼稚園でお世話になります。横江美和です。

新しい環境に緊張することもあります元気いっぱいの子どもたちと楽しく遊び、沢山の学びや発見があり、感動あふれる充実した毎日を過ごさせていただいています。まだまだ覚えること、反省することばかりではありますが精一杯頑張ります。子どもたちと共に成長できたらと思います。よろしくお願いいたします。



第3回 カナダ保育研修のご報告

2025年3月3日から10日にかけて、第3回カナダ保育研修を実施しました。参加学生はこども学部から3年生1名、2年生1名、1年生2名、保育科から2年生2名、1年生2名の計8名で、引率教員1名と同行教員1名を含む10名でカナダ・バンクーバーを訪問しました。

現地では、日本人が運営する幼稚園や保育園、カナダの保育園で実習を行い、子どもたちと英語で交流しながら遊びや手遊び、ペープサートなどを実践しました。また、レジャ・エミリア・アプローチを取り入れた保育園の見学や、保育・子

育て支援センター、保育専門図書館の訪問も行いました。さらに、昨年度本学と協定を結んだ「Sprott Shaw College」も訪問し、現地の教育環境を体験する貴重な機会となりました。

研修中は、リンバレー溪谷へのフェリーでの小旅行や、バンクーバー市内の観光も楽しみました。



自由時間には、学生たちはカフェやレストランでの食事、道案内のやりとりなどを通じて、積極的に現地の人々と交流していました。

今回の研修を通じて、学生たちは異文化や多様な保育観に触れ、柔軟な保育実践の重要性を学びました。特に、子ども一人ひとりの個性を尊重するカナダの保育の在り方は、今後の学びや実習に大きな示唆を与えるものとなりました。今後もこのような国際的な学びの機会を継続し、学生たちが広い視野を持って保育を考え、実践できる教育環境を整えていきたいと考えています。

(カナダ保育研修引率 榎原菜々枝)

■ 学院人事

■ 退職

2025/3/31 付

三枝 和也 (事務局長)

大澤 弘毅

(アドミッションセンター副センター長)

加藤 実治 (総務課課長)

菊地 篤子 (大学 教授)

青山 佳代 (大学 准教授)

梨山 翔子 (大学 職員)

2025/5/31 付

伊藤 幸雄

(三好丘聖マーガレット幼稚園園長)

■ 就任

2025/6/1 付

土井 宏純 (理事長)

2025/9/1 付

鈴木 裕子 (短大 学 長)

■ 任用

2025/4/1 付

野田さとみ (大学 学部長)

■ 再雇用

2025/4/1 付

豊田 和子 (短大 教授)

萩原はるみ (大学 教授)

■ 昇格

2025/4/1 付

制野 司

(事務局長) (総務部長、総合企画部長兼務)

佐藤 章裕 (総務課課長)

■ 異動

2025/4/1 付

中村 博文 (入学センターセンター長)

■ 兼務

2025/6/1 付

制野 司

(三好丘聖マーガレット幼稚園園長)

■ 附属幼稚園 (採用)

2025/4/1 付

[豊田幼稚園]

久松 仁美 (職員)

小野 教志 (教諭)

小野 亜龍 (教諭)

[三好丘聖マーガレット幼稚園]

森田真奈美 (教諭)

横江 美和 (教諭)

堀 由香 (教諭)

■ 理事・監事・評議員

2025/6/1 付

[理事]

土井 宏純 (理事長)

西原 廉太

菊地 伸二

宮島 義人

相原 太郎

豊田 和子

制野 司

[監事]

矢野美季恵

本田 直樹

[評議員]

野田さとみ

野崎 真琴

中村 博文

山本 里絵

鎮旗 真弓

伊藤 りか

加藤 高明

後藤 香織

丁 胤植

中村 将洋

マーガレット・ヤング基金 ご寄付のお願い

料理研究家の辰巳芳子氏（昭和 19 年卒）を長とする実行委員会によって、本基金が創設されたのは 2011 年でした。その時の趣意書には力強く、以下のように記されています。

「時代はいつも優れた保育者の養成に多くの期待をよせています。保育者養成に長い歴史と実績をもつ本学には、社会に信頼され、社会に貢献できる保育者の育成が、今後ますます期待されるところです。その為にも教育環境の更なる充実は今後とも本学の課題となります。（途中省略）今後も継続的・安定的にこうした教育環境の整備や拡充、学生支援を続けるためには、経常費に左右されない、そのための基金を作り上げることがどうしても必要です。柳城学院では、こうした基金を創設者マーガレット・マジョラ・ヤングにちなみ『マーガレット・ヤング基金』として立ち上げ、その建学の精神「愛をもって仕えよ」を再確認し、広く関係の皆様へ基金への募金をお願いすることを決意致しました。長い道のりになりますが、皆様のご協力を是非よろしくお願いいたします。」



うしても必要です。柳城学院では、こうした基金を創設者マーガレット・マジョラ・ヤングにちなみ『マーガレット・ヤング基金』として立ち上げ、その建学の精神「愛をもって仕えよ」を再確認し、広く関係の皆様へ基金への募金をお願いすることを決意致しました。長い道のりになりますが、皆様のご協力を是非よろしくお願いいた

■マーガレット・ヤング基金 延べ数等

延べ件数：947 件
寄付金総額：25,376,673 円

■マーガレット・ヤング基金給付奨学金制度利用者

2024 年度：0 名 @120,000 × 0 = 0 円
（四大生・短大生ともに申し込みなし）

■海外保育研修費用 合計 450,900 円

- ① 2024 年度カナダ保育研修 290,900 円
（カナダ国内に於ける空港移動時バスチャーター費用として）
- ② 2024 年度韓国保育研修 160,000 円
（韓国国内に於ける空港移動時バスチャーター費用として）

2024 年度内収支報告

2025.3.31 時点

項 目		(円)	備 考
収 入	総 額	980,099	(募金金額) - (手数料)
	給付奨学金	0	0 件
支 出	海外保育研修費用 (カナダ・韓国)	450,900	(カナダ・韓国 空港移動時バスチャーター費用)
	残 高	529,199	

※ 2025 年 3 月 31 日時点 口座残：18,218,370 円

2024 年度寄付者リスト（敬称略、順不同）

百田 千歳、若原 扶美江、先田 泰子、加藤 明宏、水谷 絵里、大西 憲子、西岡 フサ子、上田 恵子、白倉 春子、安藤 香、曾根 美砂、森田 千夏、長縄 年延、岩田 朋子、工藤 雅子、平松 智美、猪瀬 満枝、石野 珠子、小山 知見、髯櫛 久美子、植野 美香、青山 道、豊田 和子、福井 まり恵、古賀 真知子、成田 朋子、服部 裕子、藤田 法子、他匿名希望 7 名

募金額 一口：3,000 円（一口以上でお願いします。5,000 円、10,000 円でも結構です）

申込方法および払込方法 ゆうちょ銀行振替口座をご利用下さい。

加入者名：学校法人柳城学院

口座番号：00800 - 7 - 143189

- 「払込取扱票」に必要な事項をご記入のうえ、ゆうちょ銀行（郵便局）からお振込下さい。■同封の「払込取扱票」をご利用下さい。手数料は不要（受取人負担）です。■住所・氏名・電話番号・本学との関係・氏名公表の意思確認・旧姓・

卒業年度などをお知らせ下さい。

個人寄付金に対する免税の取り扱い 確定申告をされる方は、税額控除を受けることができます。所得税額より（寄付金額 - 2,000 円）× 40% が控除されます。

一例：10,000 円を寄付された場合、所得税額から 3,200 円が控除されます。

問い合わせ先

学校法人 柳城学院 法人事務局

〒466-0034 名古屋市昭和区明月町 2-54

TEL 052-841-2635 FAX 052-841-2697